

令和6年度 事業報告書

◇事業概要

少子高齢化、人口減少により社会構造が変化している中で、社会的孤立・生活困窮など様々な生活課題を抱える方も、誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、地域住民等が支え合い、地域を共に創っていく「地域共生社会の実現」が求められています。令和6年度は、第1期地域福祉計画・地域福祉活動計画の最終年度であることから、計画の達成度を精査し、新たに「地域共生社会の実現」を盛り込んだ次期計画「たかねざわ幸せプラン」を策定いたしました。

本会では、フードバンクや生活福祉資金をはじめとするセーフティーネットの強化。地域支えあいセンターまるっとにおいて包括的な支援体制を推進することで、つながりを実感できる地域づくりに取り組みました。

また、元気はつらつ運動教室や各種ボランティア講座を充実することで、元気で活躍できる人材を創出。それらを支援するボランティアコーディネーターと地域づくりを進める第2層生活支援コーディネーターが連携して活躍の場づくりを行い、すべての人々に生きがいのある社会の推進に取り組みました。

その他各種一連の本会事業を実施するにあたっては地域住民を始め、自治会、民生委員・児童委員、福祉関係機関、企業、ボランティア、行政など、様々な関係者・関係機関の協力を得て実施してまいりました。ここに感謝を申し上げつつ、以下のとおり令和6年度事業をご報告いたします。

◎＝重点・強化事業

■地域福祉事業

身近な地域で支えあう地域住民の地域福祉活動を支援します。

◎ 地域福祉計画・地域福祉活動計画事業の検証と次期計画の策定	
○第1期計画の検証と第2期地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定	
・ 策定委員会の開催:3回（10月、11月、2月）	
・ ワーキンググループ会議の実施:1回（10月）	
・ パブリックコメントの実施（12月～1月）	
赤い羽根共同募金地域助成事業	【共同募金配分事業】
○地域団体(自治会、公民館等)の行う福祉活動に対し活動資金を助成	
・ 助成団体:3団体(桑窪行政区、南区自治会、中郷子供育成)、計150,000円	
◎ 生活支援体制整備事業 ※地域支えあいセンターまるっとにて一体的に実施	
○住民を巻き込みながら、生活支援協議体と連携して高齢者を支える地域づくりを推進	
・ 生活支援協議体の開催(第1層:6回、第2層:18回、合同会議:2回、視察:キラッと輝く栃木市のお宝発表会)	
・ 3/15 シンポジウム「住民の助けたいが形になりました」の開催	

■生活支援事業

日常生活に不安のある人や、困難な状況にある人をサポートし自立への支援をします。

日常生活自立(あすてらす)支援事業

○判断能力の不十分な方への福祉サービスの利用援助と金銭管理等のお手伝い

- ・ 契約者数:延べ16名(新規5名、解約4名)、支援件数:延べ205件(支援外40件含む)

生活福祉資金貸付事業(県社協事業窓口)

○低所得者等に対し、栃木県社協が実施する貸付と相談支援を実施

- ・ 相談件数:135件(本則貸付83件 特例貸付52件)
- ・ 貸付件数:3件(緊急小口資金2件(200,000円)、福祉費1件(138,000円))
- ・ 特例貸付フォローアップ支援
- ・ 償還免除や償還猶予の案内、相談支援:延べ50件
- ・ 県社協合同訪問償還指導:11件(10/17実施)

高根沢町福祉金庫の運営

○低所得者等に対し、資金の貸付と相談支援を実施

- ・ 相談件数:80件
- ・ 貸付件数:13件(360,000円) 償還件数:30件(334,000円)
- ・ 借受人:20名(未償還残額350,000円)

◎フードバンクたかねざわの運営

【愛の基金】

○生活困窮者支援と食品ロス削減を目的とし、食品の寄付受付と食料支援を実施

- ・ 支援(相談)件数:346件/4,248kg(前年度比:29件増/△139kg)
- ・ 寄付(受入)件数:415件/5055kg(前年度比:67件増/442kg増)
- ・ 寄付金:90,906円(企業・個人・募金箱)

○栃木県共同募金会による「赤い羽根とちぎ生活困窮者への緊急支援活動助成(28万円)」を活用した食品保管環境整備と食料品購入を実施

○こども食堂と学習支援団体との連携

- ・ 団体を通じた子育て世帯への食品提供や運営資金助成金の案内を実施
- ・ 食品提供 こども食堂:3ヵ所、58件/360.5kg
学習支援団体:2団体、35件/159.5kg

○フードドライブの実施(計6回 66件289kg受付)

- ・ 5/ 5 保護猫譲渡会:(図書館中央館)
- ・ 5/19 エコフェスタ:(エコ・ハウスたかねざわ)
- ・ 6/12 赤十字献血:赤十字奉仕団4名運営協力(役場前庭駐車場)
- ・ 9/14 図書館ご縁祭り:(図書館中央館)
- ・ 10/ 9 赤十字献血:赤十字奉仕団4名運営協力(役場前庭駐車場)
- ・ 2/ 6 赤十字献血:赤十字奉仕団4名運営協力(役場前庭駐車場)

○県社協主催研修会での事例発表

- ・ 1/30 とちぎ地域活動啓発支援プロジェクト情報交換会(とちぎ福祉プラザ):フードバンクを通じた住民・企業・法人とのつながりをテーマにティ・エス テック株式会社様協力のもと事例発表を実施

車いす貸与事業 ○介護保険認定外等の貸与困難者への無料貸出 - 貸出:個人18台、公共施設常設9台 在庫:7台 ※その他介護用品(ベッド・歩行器等)の貸出はR6.4月から新規貸出廃止
心配ごと相談所の開設 ※地域支えあいセンターにて一体的に実施 【共同募金配分事業】 ○民生委員の協力を得て、月2回の相談所を開設 開設数:24回 相談件数:5件(他機関紹介4件、その他1件)
法律相談事業の実施 ※地域支えあいセンターにて一体的に実施 ○弁護士が法律的な諸問題の相談に応じる場を奇数月に開設 開設数:6回(一回5件で延べ30件対応)、相談申込件数:54件

■ **ボランティア、住民活動の育成・強化活動** ※支えあいセンターまるっとにて一体的に実施
ボランティア活動、住民活動を活発にするための環境を整備し、各種講座を実施します。

ボランティアセンターの運営 ○ボランティアセンターにおいて、さまざまな機関と協働し、ボランティアの振興を図るとともに、ボランティア人材を育成する各種講座を開催 - ボランティア有効登録者:106名(新規:22名) - ボランティア依頼:24件、マッチング延べ68名及び2団体 - 各種講座の開催(傾聴、手話、災害ボランティア、障がい児者サポーター(開催協力))
◎ 夏休み学生ボランティア活動体験(夏ボラ2024)事業 ○学生を対象としたボランティア活動を実施 - 参加者:77名(阿久津中(34名)、北高中(19名)、高根沢高:(14名)、その他高校(10名)) - 協力事業所:25か所
ボランティア保険助成事業 ○ボランティア活動を行う方の活動保険料を助成 - 学校支援ボランティア保険助成:8校(286名) - 全社協ボランティア保険受付:活動保険133名、行事用保険9件、総合保障3件
傾聴ボランティア講座 ○傾聴の基本や技術などを学び、傾聴ボランティアを養成する講座を実施 傾聴ボランティア講座:12名(内4名が傾聴ボランティアあのに登録)
◎ ボランティアCafé(誰もが活躍できる講座)の開催 ○誰でも取り組みやすい講座を通じて新たなボランティア参加を促すCaféスタイルミニ講座を開催 バルーンアート講座を町訪問看護ステーションを会場に開催。ボランティアメンバー7名を育成し、ボランティアグループを設立
志民活動センター事業 ○町民による社会貢献活動(志民活動)を支援し、団体間の横のつながりを活かしながらかちづくりを促進する事業 志民活動メールボックス設置:6団体登録(ちよっ困応援隊新規登録)

元気シニア応援窓口の設置

○町シニアクラブと連携してシニア世代の社会参加活動に関する相談窓口を設置

- ・利用者:9名、利用目的:ボランティア相談9件

■高齢者福祉対策事業

高齢者が住み慣れた地域で安心して自立した生活が送れるよう、介護予防の充実等に努めます。

ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯への訪問と生活支援

○登録したひとり暮らし高齢者、高齢世帯への定期的な訪問

- ・登録者数:一人暮らし277名、高齢世帯89世帯 ※避難行動要支援者台帳と共通
- ・訪問件数:新規7件、継続訪問2件、再訪問85件

一般高齢者介護予防事業「元気はつらつ運動教室」の開催

○高齢者の健康維持・介護予防のための運動教室を各地で開催

- ・福祉センター火曜コース:開催44回、登録者41名(延べ1189名)
- ・福祉センター木曜コース:開催43回、登録者39名(延べ1097名)
- ・図書館仁井田第1水曜コース:開催12回、登録者14名(延べ124名)
- ・図書館中央第2・4水曜コース:開催17回、登録者45名(延べ533名)
- ・図書館上高第3水曜コース:開催12回、登録者17名(延べ115名)

地域の居場所(ふれあいいきいきサロン)設置

【愛の基金事業】

○地域ボランティアを担い手としたふれあいいきいきサロンの設置

- ・サロン設置カ所:17カ所(中郷地区新設)、開催:延べ245回開催
- ・担い手スキルアップ講座を開催(加齢性難聴について、モルック体験)

元気あっふポイント事業

○65歳以上の高齢者を対象として、所定の場所でのボランティア活動や介護予防事業への参加にポイントを付与し、社会参加や介護予防を促進

- ・元気あっふポイント手帳保有者数:679名(内新規125名)、交換申請者数411名

住民主体による生活支援サービス団体へのサポート

○住民が組織する生活支援サービス活動団体の立ち上げ、運営をサポート

- ・住民主体による生活支援サービス「ちよっ困応援隊」発足

地域の居場所(ふれあいいきいきサロン)間交流事業 《北高くらし支え合い協議体活動》

○既存の地域の居場所同士の交流を目的とした事業の実施

- ・サロン参加者向けボッチャ体験会の開催:3回開催(6/5、11/29、3/27)
- ・サロン参加者作品展:10サロン33名、(内団体出品3団体)

みまもるアイたかねざわ事業 《つながる絆あくつ協議体活動》

○バンダナを付けて普段の活動(犬の散歩やウォーキング)を行うことで地域を“見守る”と自身への“見守られる”を兼ねる事業

- ・イベントでの活動周知:2回実施(エコフェスタ、図書館祭り)
- ・つながる絆バンダナPRウォーク:5地区実施(4/18宝石台、10/24情報の森、11/11光陽台、1/16及び2/12はお店PR巡り)

高齢者見守り配食サービス

○ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯等への昼食宅配によって、栄養面からの健康増進と安否確認を実施

- ・登録者数:235名(内利用中135名、休止中100名)
- ・業者別利用者数:Cook1.2.3:48名、いぶき:68名、ワタミ:19名

■障がい者福祉対策事業

障がい児者の生活を支援し、地域に対して理解の促進を図ります。

朗読ボランティアと連携した広報朗読テープ配布事業 【共同募金配分事業】

○みすず会の協力を得て「広報たかねざわ」、「社協だより」の読替テープを作成

- ・利用者:2名 設置施設:9ヶ所 毎月読み替えテープを提供

手話講習会(初めて講習、ステップアップ講習)の開催 【共同募金配分事業】

○初めて講習を月2回開催、ステップアップ講習を月1回開催

- ・初めて講習開催:31回(毎週水曜日) 登録者:37名(新規19名)
- ・ステップアップ講習開催:12回(毎月第3土曜日) 登録者:18名(新規8名)

障がい児と支援ボランティアとの交流事業 【共同募金配分事業】

○GENKI応援ボランティアの協力を得て障がい児との交流事業を実施

- ・9/28 親子ゴミ拾い活動:個人35名、ボランティア3名
- ・12/1 クリスマス会:個人15名、ボランティア4名

■福祉教育・子育て支援事業

児童福祉の推進のため、子育て環境の改善や学校と連携した福祉教育の推進を図ります。

子どもと高齢者の交流事業 【共同募金配分事業】

○町内保育園にてシニアクラブ会員との交流会を実施

- ・実施回数:5回 (にじいろ保育園2回、のびのび保育園2回、こぼと保育園1回)

◎リユース学生服支援事業

○不要になった学生服の回収ボックスを設置し、制服リユース団体を通じて制服を手直しして、生活困窮世帯に安価で提供

- ・制服寄付:6件(22点)をNPO栃木県子ども応援なないろに提供
- ・リユース制服利用希望:1件

児童生徒等に対する福祉体験講師派遣

○学校で行われる福祉学習プログラムの提案及び講師の派遣

- ・実施回数:4回(阿小4年生対象1回、東小4年生2回、西小5年生1回)

■災害時対策事業

災害を見据えた連携を図り、避難行動要支援者支援体制の強化を図ります。

避難行動要支援者台帳の作成及び管理 ○調査員が避難行動要支援者台帳の更新、新規調査等を実施 - 登録者数:568名(一人暮らし277名、高齢世帯89世帯、要介護3以上44名、身体障害100名、知的障害16名、精神障害7名、その他35名) - 訪問件数:591件(新規64件、再訪問527件) 登録削除:84件
災害ボランティア養成講座の開催 ○災害時に地域を支える人材を増やす目的で「避難所支援」「災害ボラセン支援」をテーマとした講座を開催 災害ボランティア講座(避難所運営編:10名、ボラセン初めて編:18名、ボラセン運営編:15名)
災害対応訓練への参画(実施なし) ○災害対応訓練時、在宅福祉ネットと協働して福祉対策本部の設置訓練実施

■福祉センターの指定管理運営

施設の設置目的に沿った運営をし、適切な管理を行います。

福祉センター総合相談窓口事業 ※地域支えあいセンターまるっとにて一体的に行う ○種別を問わず各種相談を受け止め、助言や適切な機関への紹介を行う。また、複合課題を抱えるケースについては重層的支援会議に図り、支援策を検討する 相談:356件(多機関協働事業対応6ケース、アウトリーチ継続支援対応5ケース)
各種団体への会議室等貸出 ○会議室、集会室を福祉団体等に貸出 会議室:341回、延べ1,479人 集会室:320回、延べ4,483人 娯楽スペース:137回、延べ873人
福祉避難所拠点運用事業 ○災害時に福祉避難所の拠点施設として整備 災害備蓄品の準備・点検の実施(入れ替えなし)
リモート会議専用スペースの整備 ○モート会議など多様な施設利用方法に対応した会議スペースを整備
高齢者の福祉センターを利用したサークル活動の促進 ○将棋、囲碁、民舞、手芸などの高齢者サークル活動を支援 囲碁、将棋、民舞、3B体操、手芸サークル

■情報発信

社協だよりやホームページを活用し、社会福祉協議会に関する情報の充実を図ります。

広報誌「社協だより」の発行 【共同募金配分事業】 ○年2回社協だよりを発行 ・ 6月号Vol.22、10月号Vol.23 各7,240部(新聞折り込み)
生活支援体制整備事業情報誌「ミルシル」の発行 ○地域で活躍する人にスポットを当てた広報誌「ミルシル」を発行 ・ ミルシルの発行:4回(4/15春号[第13号]、7/16夏号[第14号]、10/15秋号[第15号]、1/27冬号[第16号])、各7,500部(新聞折り込み)
町内各種イベントでの啓発 ・ さくらフェスタ、エコフェスタ、保護猫譲渡会、図書館ご縁祭り、宝石台秋祭り、町文化祭、情報の森駅伝
◎ ホームページ、SNS、LINEでの啓発(常設) 【愛の基金事業】 ○ホームページ、SNS(インスタグラム・フェイスブック)やLINEでの情報の発信・収集 ・ ホームページ:11/28にリニューアルを実施しデザインの刷新に加え、スマートフォンやタブレットに対応や職員によるWebページの作成・更新機能を追加 ・ インスタグラム:投稿51件、フォロワー583名 ・ フェイスブック:投稿51件、フォロワー279名 ・ LINE:投稿12回、友だち登録者184名

■日本赤十字社事業

日本赤十字社栃木県支部高根沢町分区として、災害事業やボランティア支援を行います。

火災救援物資の交付(交付なし) ○火災等の被害を受けた世帯へ布団、毛布、救急セットの交付
赤十字奉仕団ボランティア活動の支援 ○赤十字奉仕団員が各種イベントにおいて活動PR ・ 4/7 能登半島地震義援金募金活動:4名 サクラマルシェ(元気あっぷむら) 6/15 災害ボランティア講座での炊き出し:10名(福祉センター) 9/23 親子防災クッキングでの炊き出し:5名(図書館中央館) 6/12、10/9、2/6 フードドライブ運営協力 献血同時開催:12名(役場駐車場) 11/2 町文化祭炊き出し・甘酒提供:28名(町民広場) 2/28 赤十字救急法等講習会の開催:12名(元気あっぷむら)

■募金活動

活動の財源確保として各種募金の推進を図ります。

赤い羽根共同募金の推進	2,288,266円
日本赤十字会費納入の推進	1,812,500円
町愛の基金造成の推進	1,394,400円
社会福祉協議会費の納入推進	1,812,100円
令和6年能登半島地震災害義援金の募集	678,857円

■地域支えあいセンターまるっとの運営

複合的な課題に対して相談を受け止め、地域と専門職が連携して課題解決に取り組みます。

地域支えあいセンターまるっとの運営 ○「総合相談窓口事業」、「ボランティアセンター事業」、「志民活動センター事業」を一体的に行うことによって多様化する相談を包括的に受けとめ、支援に繋ぐ窓口を設置	
生活支援体制整備事業（再掲:地域福祉事業）	
ボランティアセンターの運営（再掲:ボランティア・住民活動事業）	
志民活動センター事業（再掲:ボランティア・住民活動事業）	
福祉センター総合相談窓口事業（再掲:指定管理事業）	
心配ごと相談所の開設（再掲:生活支援事業）	
法律相談事業の実施（再掲:生活支援事業）	
◎ 志民公開講座の開催	
共生社会を実現するための学びを得るため、志民(町民)向けの公開講座を実施	
・子育て世代への防災意識向上を目的に「親子防災クッキング教室」を開催 (参加:8家族21名)	
・誰もがなり得る「高次脳機能障害」をテーマとした講演会を開催(参加:40名)	
LINEを活用した相談の実施	

■その他の活動

不要入れ歯リサイクル ○役場、福祉センターに「入れ歯回収ボックス」を設置し、入れ歯をリサイクルした益金を地域に還元 ・ 回収益金:36,446円(金5.4g、パラジウム4.7g、銀16.3g)
善意銀行の運営 ○住民からの善意(物品寄贈)の窓口を設置 ・ 車いす3台(内1台、多機能型):匿名 ・ 未使用タオル60枚:栃木県シルバー大学校OB会高根沢支部 ・ マスク(651枚):匿名
ICTを活用した情報ネットワークの強化 ○クラウド技術を活用してネットワーク環境の安全性向上と業務効率化を図る ・ コワークストレージの導入で文書及び貸出備品管理のデータ化完了
使用済み切手収集活動 ○家庭や企業にある使用済み切手を回収し、益金を福祉活動へ活用 ・ 設置箇所:7カ所(福祉センター、役場総務課内、図書館3館、森田不動産、エコ・ハウスたかねざわ)

各種委員会等への参画

- ・ 県ボランティア活動振興センター運営委員会、町こども子育て会議、町医療介護多職種連携会議、町在宅福祉ネット、町福祉避難所ネットワーク

■実習生等の受け入れ

関連団体からの実習生、研修生等の受け入れ

中学校マイチャレンジ(受け入れ無)
社会福祉現場実習(受け入れ無)

■担当事務局

関連団体等との連携を図り、必要な支援を行います。

日本赤十字社栃木県支部高根沢町分区
日本赤十字社栃木県支部高根沢町分区赤十字奉仕団
高根沢町シニアクラブ(運営支援)
高根沢町ひとり親家庭福祉会(運営支援)
高根沢町身体障害者福祉会(運営支援)

【再掲】共同募金配分事業

共同募金会を活用し、各種福祉活動に配分しています。

赤い羽根共同募金地域助成事業	地域福祉事業
心配ごと相談所の開設	生活支援事業
朗読ボランティアと連携した広報等朗読テープ配布事業	障がい者福祉事業
手話講習会(初めて講習、ステップアップ講習)の開催	障がい者福祉事業
障がい児と支援ボランティアとの交流事業	障がい者福祉事業
子どもと高齢者の交流事業	福祉教育・子育て支援事業
広報誌「社協だより」の発行	情報発信